

# G4北・G5タンクのインサービスについて

2022年 6月 30日

---

**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

## 1. G4北及びG5タンクの建設について

### 【経緯】

- 『ALPS処理水等の長期保管』として設置しているタンク（134万m<sup>3</sup>）の内、K4タンク群（約3万m<sup>3</sup>）の用途を『厳格に放射能濃度を測定・評価するために必要な放出設備』へ変更する事にしている。
- K4タンク群を『厳格に放射能濃度を測定・評価するために必要な放出設備』に変更するため、改造を実施していく必要がある。
- 上記のK4タンク群の代替として、同等容量のタンク群（G4北・G5）を新規設置する。

【2021/5/27 廃炉・汚染水対策チーム会合/事務局会議にて説明】

### 【今回の報告事項】

- 新規設置中のタンク群（G4北・G5）のうち、G4北タンク群の使用前検査を完了（2022年6月3日）し、終了証受領（2022年6月21日）したことからインサービス可能となった。（G5タンク群：2022年9月に受検予定）
- 一方で、K4タンク群を『厳格に放射能濃度を測定・評価するために必要な放出設備』に変更する改造にあたり、「循環・攪拌試験（2022年2月実施）」および「ALPS処理水に係る実施計画に関する審査会合」における審査内容等を踏まえた検討の結果、K4タンク群の全量水抜きする必要は無い見通しが得られた。
- ついては、測定に際して実施する『循環・攪拌』実施時のタンク水位を考慮し、約1,650m<sup>3</sup>の水をK4タンク群よりG4北タンク群に移送する。

## 2. G4北及びG5タンクインサービス時期について

- G4北タンク群については、2022年6月3日に使用前検査の受検を終えており、2022年6月21日に終了証を受領。今後、K4タンク群からG4北タンク群への水移送を実施する予定。
- K4タンク群の水移送後は、日々発生する処理水の受入れとして使用する予定。

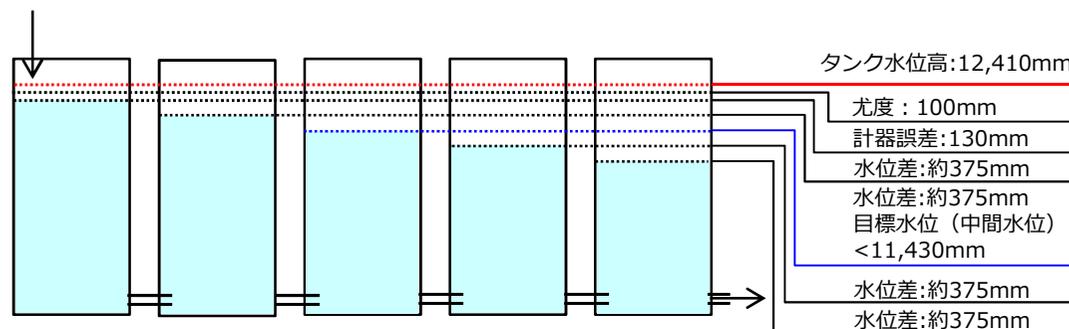
		2022年度				
		6月	7月	8月	9月	10月
G4北タンク群	▼ 6/3 使用前検査受検 ▼ 6/21 終了証受領		K4⇒G4北 水移送 約1,650m <sup>3</sup>			
				日々処理水の受入れ		
G5タンク群					▼ 9中旬 使用前検査受検予定 ▼ 10月上旬 終了証受領予定 日々処理水の受入れ	

### 3. K4タンク群⇒G4北タンク群への移送量について

#### 【目標水位】

- 2022年2月に実施した循環攪拌実証試験から、最も循環量が多い条件での運転時における隣接タンク間の水位差を算出。下記の通り目標水位を設定した。

タンク水位高	12,410mm
隣接タンク間水位差	約375mm
計器誤差	130mm
尤度	100mm
目標水位	<11,430mm



#### 【移送量】

- 現状のタンク水位から目標水位まで水位低下させた場合、約1,650m<sup>3</sup>の移送が必要となる。

	2022年5月水位	目標水位	移送量	合計移送量
測定・確認用タンクA	約97.2%(12,345mm)	約90.0%(11,430mm)	約720m <sup>3</sup>	約1,650m <sup>3</sup>
測定・確認用タンクB	約92.1% <sup>※1</sup> (11,698mm)		約210m <sup>3</sup>	
測定・確認用タンクC	約97.2%(12,345mm)		約720m <sup>3</sup>	

※1：測定・確認用タンクBについては、循環攪拌実証試験実施のため、2021年12月に水抜き済。  
試験の際、『タンク水位高』警報付近まで水位が上昇したことから更に水抜きを実施。

## 【参考】タンク水位の考え方について

### ■ K 4 タンク群の水位設定について

- 100%水位：タンク側板高さからスロッシング波高を考慮した水位
- HH水位：100%水位に到達しない様に警報発生させる水位
- H水位：HH水位に到達しない様にポンプの受入れを停止させる水位
- 90%水位：測定に際して実施する『循環・攪拌』を考慮した水位

